



休日、買い物に出掛け、車を走らせていると、信号機がない横断歩道で右手を上げて5～6歳くらいの男の子が立っていました。私の前の車が止まったので私も止まり、男の子が渡り終わるのを見ていました。その男の子は渡り終わると振り向き、車の運転手に何度もお辞儀していました。とても素直で周りの人にも優しくできる子なんだろうなあと思えました。私も仕事帰り、自宅へ曲がる時、信号機のない場所を右折するのですが、すぐ譲ってもらえる時とそうでない時があり、たまにバックミラーに車がずらっと止まり、とても焦ってしまう事があります。師走に入り、気持ちも焦り気味ですが、心に余裕を持って、譲り合いの気持ちで安全運転に心掛けたいと思います。(副主任:福山)

12月行事予定表

2日(月): 体重・血圧測定
5日(木): 知根小学校
ふれあい交流
6日(金): クリスマス・忘年会
12日(木): 園内餅つき
24日(火): 健康相談

知根小学校学習発表会

11月9日(土)、今年も知根(ちね)小学校の学習発表会に参加させて頂きました。今年は、子供達の間で流行している、パプリカのダンスを披露する事に決め、地域の方達の前で出し物を披露する事を楽しみに練習に取り組んでいました。本番当日、職員は緊張していましたが、利用者さん達は、練習の成果を披露したくて出番を楽しみにしているようでした。本番、曲が流れると児童も一緒にパプリカを踊り、会場は盛り上がりました。地域の方達と触れ合う事ができた事や就労B事業所で作った作品(陶芸や手工芸等)も児童の作品と一緒に展示し、地域の皆さんに見てもらった事で、利用者さん達も喜んでいました。今後も色々な事に取り組み、地域の方の前で披露できるように利用者さんと一緒に頑張っていこうと思います。(記事: 隈元)



12月お誕生日おめでとうございます!



東條 和三さん



坂井 文也さん



永田 三十六さん



最上 順子さん



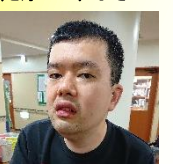
政 みさ子さん



定原 たず子さん



榮 敏郎さん



松島 大志さん

第27回大島地区ゆうあいスポーツ大会

11月3日(日)に、第27回大島地区ゆうあいスポーツ大会が龍郷(たつごう)町中央グラウンドにて行われました。テーマは「令和だよ、全員集合! みんなでEnjoy 笑顔でいっぱい結いの島」です。利用者さんはディスタンスやアキュラシー等の記録種目でメダルを目指し、水入れや玉転がしといった交流種目には力を合わせ参加。職員はサポーターと応援団員として、1日楽しく過ごしました。特に力を入れていた応援合戦では残念ながら2位でしたが、テーマの通り、龍郷のグラウンドに沢山の笑顔と元気の花を咲かせました。奄美大島の各地の事業所の方々が年に1度集う、ゆうあいスポーツ大会、久しぶりの友達に再会し、懐かしむ場面もありました。来年は徳之島での開催です。今年以上の成績が出せる様に、少しずつ練習に取り組んで行きたいと思います。(記事: 佐々木)



メダル受賞者

・ソフトボール投げ
森山 麻李亜さん
・50M走
高 由香さん
東條 和三さん
・100M走
神田 和秋さん
・ディスタンス
政 みさ子さん
永田 三十六さん
アキュラシー(5M)
森山 麻李亜さん
中江 公三さん
朝谷 テツミさん
伊元 サチ子さん
坂井 文也さん

レクリエーション

11月12日(火)19日(火)にレクリエーションを行いました。今回は新しい試みとして、12日に、ポッチャ、ラダーゲッター、フライングディスクを実施し、19日にはドミノ倒しにチャレンジしました。ポッチャは、パラリンピックの正式競技になっており、ある利用者さんからは「練習してパラリンピック目指したい」と、非常に前向きな言葉を頂きました。ドミノ倒しでは、利用者さんと職員が一体となってドミノを並べ、最後のドミノを倒した時には、大いに盛り上がり、感動すら覚えました。今回、新しい事にチャレンジしてみましたが、ポッチャやラダーゲッターの様なボールを投げる事が得意な方、ディスクを遠くまで投げる事が出来る方、ドミノを集中して並べた方まで作った方等、利用者さんの色々な可能性を知る事が出来ました。今後も、皆さんが楽しみながら笑顔になり、利用者さんの可能性を広げる事が出来るようなレクリエーションを企画していきたいです。(記事: 河村)



三賞受賞者

(努力賞)

- ・神田 和秋さん…ゆうあいスポーツ大会の100m走でメダルを貰う事ができました。
- ・定原 たず子さん…朝礼や活動に参加出来る事が多くなりました。
- ・里 優子さん…園生活にもなれ、活動(ボール投げ)に楽しんで参加する事ができました。
- ・圓 初代さん…ゆうあいスポーツ大会で指揮者を頑張りました。
- ・酒井 真希さん…自分から耳の痛みを伝え、苦手だった病院を受診し治療をする事ができました。
- ・政 みさ子さん…ゆうあいスポーツ大会のディスタンス競技で銅メダルを貰う事ができました。
- ・森山 麻李亜さん…ゆうあいスポーツ大会のアキュラシー競技で金メダルを貰う事ができました。

(努力賞)

- ・竹田 美喜子さん…膝の治療の為、入院して手術を行い、無事退院する事ができました。
- ・橋田 忠治さん…鹿児島大学病院で検査を受ける事ができました。
- ・稲田 吉浩さん…自分の洗濯を頑張りました。
- ・伊元 サチ子さん…ペダルこぎ運動を頑張っています。
- ・西 順子さん…歯科受診を頑張りました。
- ・平田 広人さん…外泊時、目標の「計画と約束」を守ることができました。

(奉仕賞)

- ・隈元 利彦さん…洗面所の掃除を頑張ってくれました。
- ・岩越 タツヨさん、岡山 いずみさん…クリスマスや感謝祭の飾り作りを頑張っています。
- ・叶 絹代さん、平山 和子さん…クリスマスの飾り作りを頑張っています。

第一回 社会福祉法人慈愛会・合同研究発表会

11月8日、9日に愛の浜園で法人合同研究発表会が行われました。南海日日新聞、奄美新聞にも掲載されましたが、「見つけよう！身近にある共生社会 地域をつなぐ慈愛の輪」をテーマに社会福祉法人慈愛会の5施設（おひさま保育園（保育園：鹿児島）、きずな保育園（保育園：鹿児島）、架け橋（サービス付き高齢者向け住宅：鹿児島）、南界園（特別養護老人ホーム：種子島）、愛の浜園（障害者支援施設：奄美大島）での取り組みを代表者が発表しました。この法人合同研究発表会の開催は今回が初めての企画ということもあり、各施設のプロジェクトメンバーが毎月話し合いを重ね、約9ヵ月間の計画で実施する事ができました。また、5施設3分野（異職種）の発表を聞き、新たな学びとこれまで取り組んできた事の確認ができた研究発表会になりました。翌日には、愛の浜園で取り組んでいる共生社会の活動の一つ、陶芸の体験を行ったり、奄美大島の福祉サービスの資源を見学する等の研修も行われました。今回の合同研究発表会で得たことは、新たなプロジェクトの形として残せた事が大きな自信となりました。また、5施設の職員の顔の見える関係ができたことは、これからの慈愛会の大きな強みになると思っています。次回は、種子島（南界園）での開催予定です。来年の法人合同研究発表会が楽しみです。（記事：辻原）



第6回 愛の浜園 感謝祭



11月24日（日）第6回愛の浜園感謝祭が開催されました。毎年、愛の浜園の中庭で開催していましたが、今年は道路からも見えるように、「正門近くの駐車場で開催したい！」と係で準備を進めてきました。そんな中、皆が一番心配したのが天候でした。週間予報では24日は降水確率90%。感謝祭までの一週間、天気予報をチェックする毎日でした。それでも晴れる事を信じて、雨の中、会場の準備を始めました。24日当日、天気が気になり、朝4時に目が覚めました。外はまさかの大雨…。それでも天気予報は「晴れのち雨、降水確率50%」になっており、それを信じ準備を進めました。皆の願いが通じたのか、8時半頃には晴れ間が見られ、予定通り9時半から感謝祭をスタートできました。『就労移行支援・就労継続支援B型事業所 夢来夢来（むくむく）』、『就労継続支援B型事業所 Authentic（オーセンティック）』、加計呂麻（かけろま）島からは『障害者支援施設なのはな園』にも販売で参加して頂き、例年以上に盛り上がった感謝祭になりました。年々、参加して頂く事業所が増え嬉しく思います。また、参加されたお客さんからは、「いつもいいのが買えるから。」と9時半より早い時間に来園され待って下さる方もいらっしゃいました。「いつも支えて下さっている皆さんへ感謝の気持ちを込めて…」という想いで始まった愛の浜園の感謝祭。愛の浜園を知ってもらえるいい機会にもなっていると思います。今年の感謝祭を活かし、来年は更にパワーアップして、皆さんに楽しんで頂ける感謝祭にしたいと感じました。また、来年もお待ちしております。（記事：富田）

利用者と職員と…みんなで作る園行事



愛の浜園ではいろいろな行事があり、係りの職員を中心に進めています。そこで、活躍するのが、今月も奉仕賞を受賞してる、利用者の皆さんです。11月は、感謝祭や12月のクリスマス忘年会に向けての飾り作りに協力してくれました。普段は、テレビやDVDを観たり、音楽鑑賞、雑誌を見るなど、ゆっくり過ごしている利用者さんが、飾り作りとなると集中して黙々と取り組みます。でも、それは頼まれて嫌々しているのではなく、楽しくもあり、「ほらっ。」とでき上った物を見せると「上手だね。」「すごいね。綺麗だね。」などと認められる場にもなっており、とても嬉しそうです。そして、「こんな事もできるんだ。」と私たちの新しい発見にもなっています。集中力を高めたり、情緒の安定、余暇の充実、さらに指先のリハビリにもなり、一石二鳥どころか何鳥にもなっています。これからも、利用者の皆さんの協力を得ながら、みんなで楽しい思い出をいっぱい作っていきたいです。（記事：大田）